

知って当たり前 介護ガイド帳



上原喜光

2年前、俳優の布施博さん（52）と古村比呂さん（45）の夫妻が、17年間の結婚生活にピリオドを打ちました。

互いの両親が同時に介護状態に陥り、離れ離れで暮らすうち、意思の疎通がうまくいかなかったのが原因とされます。

昨年の離婚件数は、25万1000組。同居20年以上の熟年離婚は約2割ですが、近年、「介護離婚」が急増しています。

40代後半から50代に入り、子供たちも成人し、「これからは夫婦で旅行したい」「2人でおいしいものを食べに行きたい」と話をしている夫婦がたくさんいると思います。

その夢を壊すのが介護です。

突然、田舎から「親が倒れた」という一本の電話。親の介護で週末だけ帰省している人もいます。寝たきりになったら、夫婦どちらかが帰り、別居して親の介護に当たらな

くてはなりません。古村さんの実家は北海道だそうです。「奥さんの実家が北、夫の実家は南」なんてケースも珍しくありません。

このような時のためにも、夫婦でシミュレーションし、今から対策を話し合っておきましょう。

JR各社が行っている割引サービス「ジパング倶楽部」



を熟年夫婦のための旅行企画だと思っはいませんか？あれを介護業界では、介護で帰省する際の割引サービスと考えています。年会費3670円（夫婦なら6120円）を払って会員になれば、年20枚の割引クーポン券（最高3割引）がもらえます。また、航空各社も介護のための帰省なら4割程度値引きしてくれます。

別居も離婚も、当事者同士の問題で行われるならば諦めもつきませんが、仲のいい夫婦が親の介護が原因で別居、離婚にならないよう今から考えておくべきです。
（全国介護者支援協議会会長）

「ジパング倶楽部」を使って介護帰省